
霧の中の鳥

シーモン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

霧の中の鳥

【Zコード】

N9112Y

【作者名】

シーモン

【あらすじ】

…平和な田舎町で起きた連続殺人事件。

その町に配属された二人の刑事…一人の刑事は、真相を追い続ける少年少女にあります…

(この小説は、アトラスから発売されているペルソナ4の「次元創作小説です。キャラ崩壊、設定無視は極力しない様にしますが、やつたらすいません…

初めての連載なのでアドバイスをおねがいします。)

第一話「金糸雀」（前書き）

ほい、どうもー、シーモンです！始まりました…始まつてしまいまし
た…

処女作なので、変な書きかたをしていたらすいません…

更新は不定期ですが、これから宜しくお願いします！

第一話「金糸雀」

…念願の刑事になれた
だけどなあイキナリこんな田舎町に飛ばされたとはなあ…

まあいいか…人生狂つてナンボの人生だな。
b.y.かなさん。

男は最近、愚痴をネットにながしても仕方ないんだけどねえ…
いた。

（まあ、愚痴をネットにながしても仕方ないんだけどねえ…）

（目的地の稲葉市にまで
あと一時間はあるな…
寝るか…）
男は腕を組み、首を少し下げてすぐにスウスウと寝息を立てて寝て
しまった…

「…稻葉。…終点八十稻葉。お降りのさうは…」

（うん？もう着いたのか？）

ゆっくりと男は、立ち上がり荷物を網棚から下ろしふりつゝ様にホー
ムに降りていった。

（さてと、稻葉警察署は…）

少し体を伸ばしながらこんな事を考えて「い」と少しポツチャリとしたスーツ姿の男が手を振りながら

「おーい、君かい？」この春から稻葉警察署に配属になる刑事つて？と聞いてきた。

（稻葉警察署の方かな？）と思い

「ええ、来週から稻葉警察署に配属される、松枝ですが、あなたは？」

「そうか、君が松枝君か！私は来週から君の上司になる鳥山だ。これから宜しく頼むよ！」

「どうも、宜しくお願ひします…」

突然、上司が来たので少し戸惑いながら答えた。しかし何故、上司の鳥山さんが迎えに来たのだろう？疑問に思い

「あの…出迎えとかそーゆーのが来るのは聞いてないんですけど…」

「ああ、ちょっとねこの辺に用事があつてね。その帰りに駅前の自販機でタバコを買おうとしたら、君の書類に載つていた顔だつたらね。で、わからないことがあつたから聞こうと思つてね。」

「わからない」と…

「君の下の名前だよ。実はもう一人の新人がコーヒー「ぼしちゃつてね…君の名前の所が松枝としか読めなかつたんだよ。」

もう一人の新人…確かに俺より若い冴えない男だつたな…なにやつてんだよ…

「…下の名前は、金の糸の雀と書いて金糸雀と言います。」

「松枝金糸雀か、珍しい名前だね…まあ聞きたかったのはそれだけだよ。あ、他の部分は汚れてないから安心してね」

それだけ聞くと、小走りで車に乗り颯爽と帰つていった。

あれが、俺の上司か…愛嬌がある人だな…

まあ、今日はサッサとアパートに行つて荷物を整理するか…

金糸雀はブラブラと歩きながらこれから住むアパートへと向かつた。

この日、三月三十日。

物語が始まる前の、話だ。

これから始まる物語

霧に包まれた街に起きる連續殺人事件に真相を追い続けある少年少女に出会う一十六歳の若い刑事の話…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9112y/>

霧の中の鳥

2011年11月27日10時54分発行